



【満員御礼受付了】スウェーラ
繡ブックカバー
-スウェ...

書物美の世界

画家のブックデザイン 装丁と装画の醍醐味

昔、画家が意匠を凝らして装丁した「ブックデザイン」。明治から現代までの著名な日本人画家の美装本を取り上げ、日本が世界に誇る伝統技術でもある木版印刷や製本、製本技術を紹介し、塩本文化を振り返ります。

経済の変化で広告デザインが急進してくると最近ではブックデザインが人気を博し、グラフィックデザイナー専攻の美大生の中にもブックデザイナー希望者が急増しています。そのような現状の中み改めてブックデザインの選進である「装丁と装画」を見直し、その重要性と楽しみを考えます。果たして電子書籍に圧されて紙の本の居場所がなくなる時代が来るのでしょうか？答えは講座にて・・・。

【講師プロフィール】 小林 真理(こばやし まり)
日本書設計家協会会員兼 理事
アサヒ新聞社(株)デザイン部 装丁デザイナー・装画デザイナー、作家、読者層に合わせたブックデザイン 2016年 株式会社 読者層に合わせたブックデザイン

【日時】 2018年6月1日(土)
14時～15時30分

【会場】 日比谷図書文化館
4階 スタジオアラス (小ホール)

【定員】 60名(先着順)

【参加費】 1,000円(千代田区民500円(世帯を複数持つ方もお持ち下さい))

【申込】 随分付、電話(03-3502-3340)、Email(collections@hibiyal.jp)にての講座名、◎お名前 (読みがな)、◎お電話番号をご連絡下さい。

日本の美しい装丁本
と贈り物デザインマガジンス
2018年4月～6月



イベント 終了しました

【満員御礼受付終了】画家のブックデザイン-装丁と装画の醍醐味

キーワード	日比谷カレッジ,書物美の世界,図書フロア展示
内容	<p>シリーズ書物美の世界<第3回> 「本の中身」だけでなく、中身を纏う装丁・装丁のデザイン・ブックカバー、中身を引き立てる装画など、本を作るに当たり欠かせない様々な部位にスポットを当て、ますます本の世界の奥深さを知ってもらうシリーズ第3弾は、日本の画家の装丁や装画の魅力に迫ります。</p> <p>「ブックデザイン」という言葉は今でこそ定着していますが、昔は画家が意匠を凝らして装丁したことから始まりました。</p>

当講座では、明治から現代までの著名な日本人画家の美装本を取り上げ、日本が世界に誇る伝統技術である木版印刷や製紙・製本技術も紹介し、造本文化を振り返ります。

電子書籍に圧されて紙の本の居場所がなくなる時代は来るのでしょうか？答えは講座にて。

【関連展示】「日本の美しい装丁本」
(2階パープルゾーン ガラスケース)

日にち	2013年06月01日(土) 14:00から15:30
場所	4階 スタジオプラス (小ホール)
関連ファイル	講座ポスター
定員	60名
参加費用	1,000円(千代田区民500円)

講師・出演者	小林 真理
プロフィール	日本図書設計家協会副会長・理事。 デザイン制作会社「スタルカ」主宰・ブックデザイナー・画家・作家。 編著書に『和のうつわ』（平凡社） など日本の手仕事を紹介する本が多数ある。

主催	千代田区立日比谷図書文化館
協力	日本図書設計家協会、株式会社スタルカ

問い合わせ先	千代田区立日比谷図書文化館 電話:03-3502-3340
申込期間	2013年03月25日 10:00 から2013年06月01日 13:30
申込方法	電話 (03-3502-3340) 、Eメール (college@hibiyal.jp) 、当館(1階受付)いずれかにて、①講座名、②お名前(よみがな)、③電話番号をご連絡ください。

カレンダー表示	2013年 06月
<input type="checkbox"/> イベント開催日	日 月 火 水 木 金 土

休館日

							1
2	3	4	5	6	7	8	8
9	10	11	12	13	14	15	15
16	17	18	19	20	21	22	22
23	24	25	26	27	28	29	29
30							

発信日

2013.04.01

 印刷 リストに追加

ツイート

©2011 Hibiya Public Library. All Rights Reserved.